

港区将来ビジョン 令和5年度実績

I. 災害に備えたまちづくり

指 標	現状値 (令和元年度)	実績値 (令和5年度)	目標値 (令和5年度)	実績値に対する評価
災害に備えたまちづくりの取組事項と主な実績について「十分」「おおむね十分」と思う区民の割合（アンケート値）	53.3%	53.3%	60%	新型コロナウイルス感染症により地域での防災活動が制約される期間があったため、昨年度から上昇したものの目標値の達成には至りませんでした。今後は、従来の取り組みに加え、区内全世帯を対象にした安否確認訓練を行うなど、自助・共助の取り組みをさらに推進してまいります。
地区防災カルテを活用した防災活動に取り組んでいる学区の割合	100%	100%	100%	全ての学区で継続して地区防災カルテを活用した防災活動に取り組み、話し合いや訓練を実施することができました。活動を通じて学区ごとに作成したハザードリスクの啓発チラシを、消防署による戸別訪問事業やポスティングで配布しました。
「無事ですカード」を活用した安否確認体制づくりに取り組んだ学区の割合（累計）	25%	75%	45%	区役所と消防署が連携して啓発に取り組んだ結果、目標値を上回ることができました。早期に全ての学区での取り組みに至るよう本事業のさらなる推進に取り組んでまいります。
寝室の家具等に転倒防止対策を行っている区民の割合（アンケート値）	52.9%	60.4%	100%	戸別訪問事業をはじめ、訓練等の機会を通じて、家具等転倒防止対策の啓発を実施しましたが、目標値の達成には至りませんでした。引き続き、家具固定機材の取り付けを行うボランティアの育成やボランティア制度の周知を推進し、家具転倒防止対策の普及を促進してまいります。
妊婦・乳幼児の親の非常持出品の備え率（新生児・乳児訪問時アンケート値）	36.8%	39.0%	100%	妊娠期から啓発を図っていますが、非常持出品の備え率は2.2%の上昇にとどまっています。子育て世帯が、日頃から災害に関心を持ち、子育て世帯向けの具体的な災害対策ができるための取り組みを進めてまいります。

II. 安心・安全で快適なまちづくり

指 標	現状値 (令和元年度)	実績値 (令和5年度)	目標値 (令和5年度)	実績値に対する評価
主要罪種（※1）の犯罪件数（年間）	512件	447件	450件以下	目標値を上回ることができましたが、今後も減少傾向を継続するため、引き続き犯罪情勢に応じた効果的な啓発活動を行ってまいります。
交通事故死傷者数（年間）	688人	800人	650人以下	交通事故死傷者数は大幅な増加となりました。交通事故の抑止には、一人ひとりの交通安全意識の向上が不可欠であり、今後も引き続き様々な啓発活動を行ってまいります。
空地清掃率（※2）	64.5% (平成30年度)	78.3%	70%以上	土地所有者に対する積極的かつ粘り強い働きかけを行い、空地の清掃率を上げることができました。所有者調査が困難な空地や解消に至らない空地もありますが、引き続き、所有者に対して粘り強く働きかけを行うことで清掃率の向上を目指します。
TNR活動（※3）の認知度（アンケート値）	10.5%	35.3%	17%	目標値を上回る実績値が得られました。動物愛護センターに収容される子猫等の頭数及びのら猫による迷惑を減少させるために、TNR活動を円滑に進める必要があります。引き続き、周知に努めていきたいと考えています。

※1 主要罪種 …体感治安に影響を与えやすい罪種のうち本市が指定する罪種であり、「強盗」「恐喝」「侵入盗」「自動車盗」「オートバイ盗」「自転車盗」「部品ねらい」「車上ねらい」「ひったくり」「自動販売機ねらい」のことを指します。

※2 空地清掃率…港区が清掃（除草）を依頼した空地件数のうち対応が確認できた件数の割合を指します。

※3 TNR活動…のら猫を捕まえて（Trap）、避妊去勢手術（Neuter）をし、元の場所に戻す（Return）活動。のら猫の頭数の抑制が期待できます。

Ⅲ. 子育て支援と健康福祉のまちづくり

指 標	現状値 (令和元年度)	実績値 (令和5年度)	目標値 (令和5年度)	実績値に対する評価
子育てしやすいまちだと思える区民の割合 (アンケート値)	29.8%	60.7%	40%	子育て支援情報の発信や赤ちゃん訪問を実施したことにより、子育ての負担感や孤立感を一定軽減できたものと認識しています。引き続き、妊娠初期からの切れ目ない寄り添い支援及び子育て支援施策の充実に努めてまいります。
児童虐待の相談窓口を知っている区民の割合 (アンケート値)	35.6%	40.3%	50%	オレンジリボンキャンペーンをはじめ、各種イベントにて啓発を行ったことで認識が広がったと考えています。今後は、児童虐待の早期発見・早期対応のため、児童虐待の相談窓口を子育て情報と合わせて発信し、さらなる周知を図ってまいります。
困った時に相談できる人が隣近所や地域にいる 高齢者の割合(アンケート値)	53.5%	57.0%	65%	新型コロナウイルス感染症の影響により、人との交流や外出の機会が減少し、新型コロナウイルス5類移行後も依然として閉鎖しているサロン等があること等を背景に、結果として目標値の達成に至りませんでした。困った時に、高齢者が相談できる様々な体制、活動が再開されているサロン等のつながりの場をさらに広く周知するとともに、高齢者が孤独感を感じることなく、地域において自立した日常生活を営むために必要な支援体制構築を、関係機関とともに連携し推進していきます。
「港区認知症になっても安心して暮らせる町をつくり隊」の登録者数	26人	46人	40人	説明会や交流会等で登録者を募った結果、目標値を上回る登録者数となり、認知症の方々を地域で支えあう意識を広めることができました。
障害当事者参加型の啓発活動「あなたと私の架け橋お届け便」開催回数	3回	10回	9回	港区障害者基幹相談支援センター内の活動スペース「ミナクル」や地域団体、学校などで啓発活動を行い、目標値を上回ることができました。

Ⅳ. 魅力あふれるまちづくり

指 標	現状値 (令和元年度)	実績値 (令和5年度)	目標値 (令和5年度)	実績値に対する評価
港区に魅力を感じている区民の割合 (アンケート値)	35.5%	66.7%	50%	目標値を上回ることができましたが、まだまだ隠れた魅力資源もあり、災害対策や地域活動など様々な取り組みの情報発信を行うことで、実績値をさらに向上させることができると考えられるため、引き続き、区の魅力の発掘と情報発信に力を入れて取り組んでまいります。
地域の住民によるまちづくりが活発に行われている と思う区民の割合(アンケート値)	26.8%	46.5%	40%	目標値達成の大きな要因は地域の活動が根底にあります。区としては、地域活動を支援し活性化を図ることと、地域活動について広くPRすることにより、実績値が向上できるよう取り組んでまいります。

Ⅴ. 住民に身近な行政サービスづくり

指 標	現状値 (令和元年度)	実績値 (令和5年度)	目標値 (令和5年度)	実績値に対する評価
区役所・支所窓口における対応に満足している 区民の割合(アンケート値)	98.4%	98.9%	100%	目標値の達成には至りませんでした。研修を通じて職員の接遇向上に取り組んだ結果、令和元年度の現状値を上回ることができました。引き続き、窓口対応に満足していただけるように、職員の接遇能力の向上に努めてまいります。
区政に関して知りたい情報が十分に得られている と思う区民の割合(アンケート値)	18.8%	51.7%	25%	令和元年度の現状値から大きく上昇することができました。公式ウェブサイトやインスタグラムなどのSNSを活用した情報発信を積極的に行うとともに、広報なごやをはじめとした紙媒体による情報発信を両輪で行い、幅広く情報発信に取り組んでまいります。